

5. ユニバーサルデザイン・心のバリアフリー

- 大会に向けたユニバーサルデザインの推進
- 情報通信技術を活用した行動支援の普及・活用

ユニバーサルデザインの推進

【概要】

1日の乗降客数が3,000人以上の旅客施設、特定道路について、2020年度までに原則100%のバリアフリー化など、バリアフリー法の基本方針に定める整備目標の着実な達成に向けて取組を推進中。

加えて、8月の「ユニバーサルデザイン2020 中間とりまとめ」を踏まえて、東京大会に向けた首都圏空港から競技会場等に至る世界水準での重点的なバリアフリー化の推進、バリアフリー基準やガイドラインの改正等を通じた全国のバリアフリー水準の底上げ、交通事業者の接遇や研修の改善等を通じた心のバリアフリーの推進に取り組んでいくこととしている。

ユニバーサルデザインの街づくり

＜東京大会に向けた重点的なバリアフリー化＞

空港から競技会場等に至る世界水準のバリアフリーを推進、東京のユニバーサルデザインの街づくりを世界にアピール

○競技会場周辺エリア等の連続的・面的なバリアフリー化の推進

- ・アクセス道路のバリアフリー化を推進
- ・主要な都市公園等のバリアフリー化を推進 等



＜バリアフリー化実施例＞

○主要鉄道駅、ターミナル等におけるバリアフリー化の推進

- ・大会関連駅のエレベーター増設や、ホームドア整備等を重点支援 等



＜ホームドア＞

＜エレベーター＞

○成田空港、羽田空港国際線ターミナル等のバリアフリー化の推進

- ・世界トップレベルのユニバーサルデザイン化に向けた数値目標を設定 等



○リフト付きバス・UDタクシー車両等の導入促進

- ・空港アクセスバス・UDタクシー等の導入に向けて重点支援 等



＜全国各地における高い水準のバリアフリー化の推進＞

今後の超高齢社会への対応、地方への観光誘客拡大等の観点から、全国のバリアフリー水準の底上げを図り、東京大会のレガシーとする

○バリアフリー基準・ガイドラインの改正

- ・国内基準・ガイドラインを改正し全国のバリアフリー水準を底上げ 等



○観光地全体のバリアフリー化

- ・障害のある人が訪れやすい観光地づくりに向け、観光地エリア全体の面的なバリアフリーを推進 等



＜観光地＞

○都市部等における複合施設（大規模駅や地下街等）を中心とした面的なバリアフリーの推進

- ・地域の中核となる施設を中心に連続的かつ面的なバリアフリーを推進 等

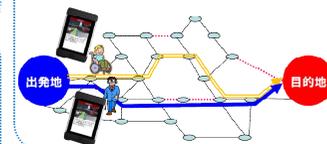
○公共交通機関等のバリアフリー化

- ・鉄道、旅客船ターミナル、空港、バス・タクシー等におけるバリアフリー化を更に推進 等



○ICTを活用したきめ細かい情報発信・行動支援

- ・ICTを活用し、障害のある人等が自立して移動できる環境の整備 等



○トイレの利用環境の改善

- ・様々な障害のある人にとって利用しやすいトイレ環境の整備 等



心のバリアフリー

○交通・観光分野における接遇の向上と職員研修の充実



○ユニバーサル社会の構築に向け、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を当面の目標とし、屋内外の電子地図や屋内測位環境等の空間情報インフラの整備・活用、及び移動に資するデータのオープンデータ化等を推進し、民間事業者等が多様なサービスを提供できる環境を整備する。

○空間情報インフラ(屋内の電子地図、測位環境等)の整備・管理の仕組み等の検討

＜空間情報インフラ整備とそれを活用したナビゲーションサービスのイメージ＞



ストレス無く、屋内外をシームレスに移動することが可能に

- 平成27年度に引き続いて検討会を設置し、民間事業者等による多様なサービスが生まれやすい環境づくりに向けた検討を実施中。
- 成田空港、東京駅・新宿駅周辺、日産スタジアムにおける空間情報インフラの先行的な整備と、それを活用したナビゲーション等サービスの実証実験の実施(平成28年11月～平成29年2月)に向けて調整中。

○歩行者移動支援に資する各種データのオープンデータ化 ＜オープンデータの活用によるサービス創出のイメージ＞



- 有識者委員会の提言(H27.4)を踏まえ、オープンデータ環境整備を実施中。
 - ポータルサイトの開設(H27.7)、自治体の取組を促すガイドラインの公表(H27.9)。
 - 歩行空間ネットワークデータ整備仕様書の改訂等について検討中。

歩行者移動支援サービスのイメージ

〔屋内外問わず、自分の現在位置、目的地までの経路等の情報が詳細に入手可能〕

